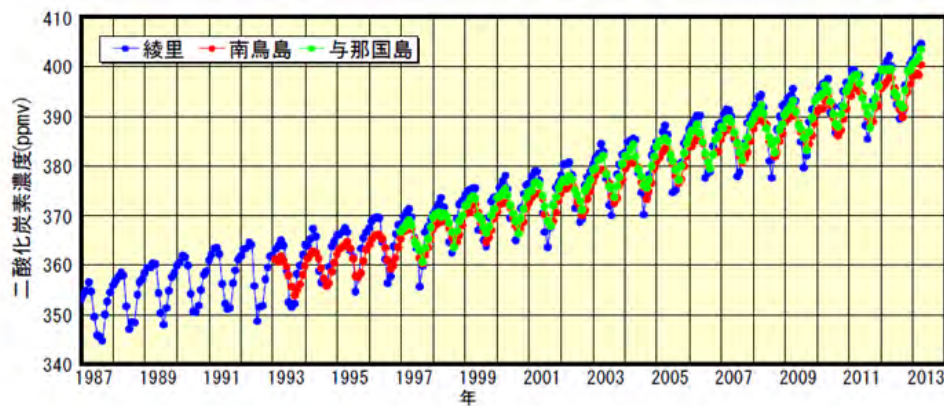


❖ 今年４月までに気象庁の全ての温室効果ガス観測地点で二酸化炭素濃度の月平均値が 400ppmv を超えました

気象庁は、岩手県大船渡市綾里、東京都小笠原村南鳥島、沖縄県八重山郡与那国島の国内 3 地点で大気中の二酸化炭素濃度の観測を実施しています。昨年、綾里において二酸化炭素濃度の月平均値が初めて 400ppmv を超えました。今年はさらに与那国島で 1 月に 400.7ppmv、南鳥島で 4 月に 400.5ppmv と、それぞれ 1997 年と 1993 年の観測開始以降初めて月平均値が 400ppmv を超えました。また、綾里と与那国島の今年 4 月の月平均値は、それぞれ 404.8ppmv、403.5ppmv となり、3 地点全てで観測開始以降最高となりました。

なお、2012 年の年平均値は 3 地点でそれぞれ 397.2ppmv (綾里)、394.9ppmv (南島)、397.0ppmv (与那国島) と、全て観測開始以降最高となっています。



図：綾里、南島島および与那国島における大気中二酸化炭素濃度の月平均値の経年変化 (ppmv:体積比で百万分の一)

(気象庁ホームページから)